

式根島の持続可能な観光のために私たちができること

島の持続可能な観光のために、私たちにできることは「島の未来を尊重し、共に創る」意識を持つことだ。なぜなら、観光とは誰かの生活区域へ足を踏み入れることであり、その基盤を担う環境や地域住民の方々への敬意と、未来への責任が不可欠だからだ。式根島は、豊かな自然と温かい島民の方々との交流という魅力を持つ貴重な場所であり、その魅力を次世代にも継承するという意識を観光に関わる全ての人を持つべきだ。

そもそも式根島における観光の課題は、大きく分けて二つあり、一つは観光客数の変動が大きいことだ。特に夏季には、島のキャパシティを超える観光客が訪れることもあり、環境への負荷が増大している。一方で、オフシーズンには観光客が大幅に減少し、地域経済の低迷を招いている。もう一つは、観光客の環境意識やマナーの問題だ。現状では、プラスチックゴミの投棄やサンゴの白化など、島の自然環境に負荷を与えている側面がある。また、一部の観光客による騒音や無断駐車など、島民の生活を妨げる行為も見受けられる。

これらの課題を解消するために、私たち観光客ができることは数多くある。まず、環境に配慮した行動を心がけることが重要だ。例えば、ゴミの持ち帰りや、環境に優しい日焼け止めの使用、マイボトルの利用などが挙げられる。加えて、島民の生活や文化を尊重する意識を持つことが重要だ。地域住民への配慮はもちろん、地域のルールやマナーを守り、騒音や無断駐車などの迷惑行為は慎むべきだ。

そのような観光のあるべき姿を実現する一つの策として、島民ガイド付きの体験ツアーや、島民の民家を活用したグリーンスティなどを提案する。これらの体験を通じて、観光客は島民との交流や自然との触れ合いを深め、心身ともにリフレッシュできるだろう。さらにこれらは、単なる観光客としてではなく、式根島の魅力を理解した「式根島アンバサダー」を育成する効果も期待できる。アンバサダーとなった観光客は、自身の体験をSNSや口コミで発信することで、島の魅力を広く伝える役割を担うだろう。また、アンバサダーは、島民と観光客の橋渡し役となり、双方の意見交換や交流を促進することで、より良い観光のあり方を共に考え、創り上げていくことができる。

島民、観光客、行政がそれぞれの立場を理解し、協力し合うことが未来の世代に美しい自然と文化、そして温かい島民との交流を継承する一助となるはずだ。(998字)